

**YAMAHA ELECTONE®**



**C-201**  
取扱説明書

エレクトーンC-201は、永年つちかかってきた楽器づくりの経験と技術をもとに、時代の先端をいく電子テクノロジーをふんだんにとりいれて完成させた最新型の電子オルガンです。特に、ヤマハが独自に開発したデジタル技術によって実現した「自然で生き生きとした音」「豊かな響き」は、どなたにもご満足いただけることと思います。さらに初心者の方でも手軽に楽しめる数々の自動演奏機能をとりにれていますので、ご家族全員でご愛用いただけます。演奏にあたりましては、その多彩な機能を存分にお楽しみいただくため、あらかじめ本書をご一読くださいますよう、お願いいたします。

●目次●	
1. レバーやボタンの名称。	2
2. まず音をだしてみましょう。	4
3. いろいろな音色をつくってみましょう。	6
4. 音に表情をつけて、豊かな響きに。	10
5. メロディーにハーモニーがつけられます。	13
6. リズムを加えてみましょう。	14
7. 自動伴奏を楽しみましょう。	16
8. アルペジオ(分散和音)伴奏も楽しめます。	19
●付属端子と音のエチケッについて	20
●仕様と音域表	21
●エレクトーン教室のご案内	22
●末永くお楽しみいただくために	23
●このような現象は故障ではありません	24
●サービスと保証について	26
●エレクトーン豆知識	28

```

graph LR
    A[1. 音色をつくる] --> B[上鍵盤]
    A --> C[下鍵盤]
    B --> D[上鍵盤 トーンレバー (6ページ)]
    B --> E[スペシャル プリセツ (8ページ)]
    B --> F[カスタム ボイス (8ページ)]
    C --> G[下鍵盤 トーンレバー (7ページ)]
    C --> H[ペダル鍵盤 トーンレバー (7ページ)]
    D --> I[プリセツアンサンブル (9ページ)]
    E --> I
    F --> I
    G --> I
    H --> I
    I --> J[ビブラート]
    I --> K[トレモロ/シンフォニックコーラス]
    I --> L[サステイン]
    I --> M[アッパー スローアタック]
    I --> N[ロワーカブラー]
    I --> O[リバーブ]
    I --> P[マニユアルバランス (10ページ) <br/> 12ページ]
  
```

1. 音色をつくる

上鍵盤

上鍵盤 トーンレバー (6ページ)

スペシャル プリセツ (8ページ)

カスタム ボイス (8ページ)

下鍵盤

下鍵盤 トーンレバー (7ページ)

ペダル鍵盤 トーンレバー (7ページ)

プリセツアンサンブル (9ページ)

ビブラート

トレモロ/シンフォニックコーラス

サステイン

アッパー スローアタック

ロワーカブラー

リバーブ

マニユアルバランス (10ページ) <br/> 12ページ

1

レバーや  
ボタンの名称。  
〔各部の名称〕

2

まず音を  
だしてみましょう。  
〔音をだすには〕

3

いろいろな音色を  
つくってみましょう。  
〔音色〕

4

音に表情をつけて、  
豊かな響きに。  
〔効果〕

5

メロディーにハーモニーが  
つけられます。  
〔メロディーオンコード〕

6

リズムを  
加えてみましょう。  
〔オートリズム〕

7

自動伴奏を  
楽しみましょう。  
〔オートベース/コード〕

8

アルペジオ(分散和音)  
伴奏も楽しめます。  
〔オートアルペジオ〕

3. 楽しさをひろげる

メロディーに  
ハーモニーをつける  
〔メロディーオンコード〕  
(13ページ)

リズムを加える  
〔オートリズム〕  
(14ページ)

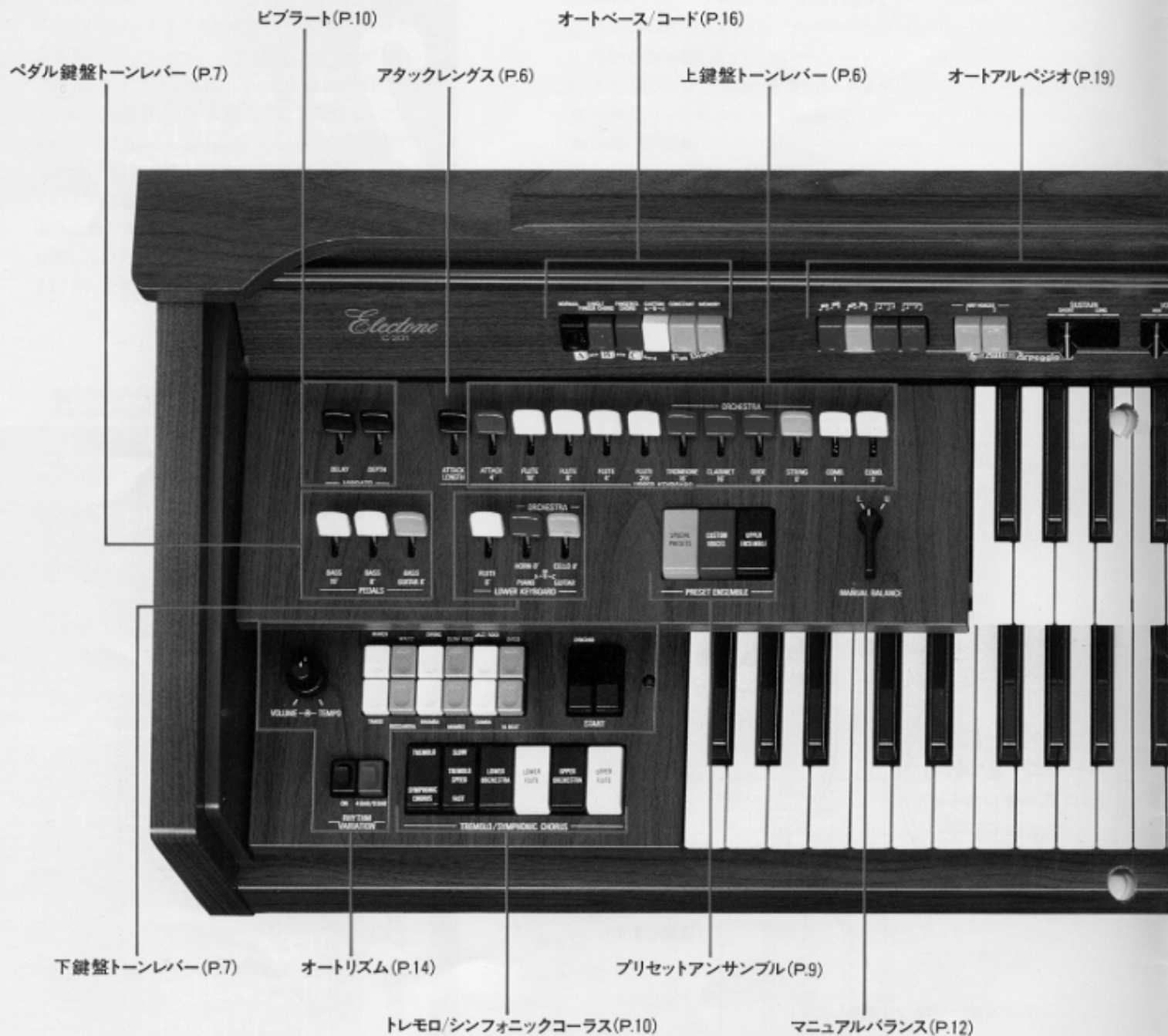
自動伴奏にする  
〔オートベース/コード〕  
(16ページ)

アルペジオ伴奏を  
加える  
〔オートアルペジオ〕  
(19ページ)

(連動します)

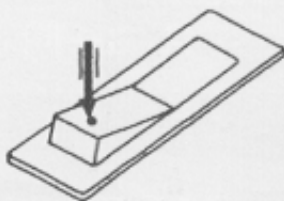
(連動します)

# レバーやボタンの名称。

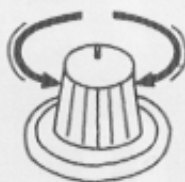
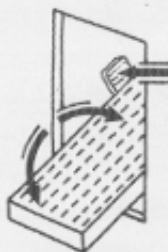


## ★レバーやボタンなどの操作のしかた

電源スイッチ



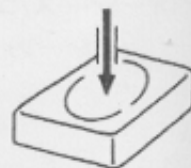
つまみ

エクスプレッションペダルと  
フットスイッチ

トーンレバー

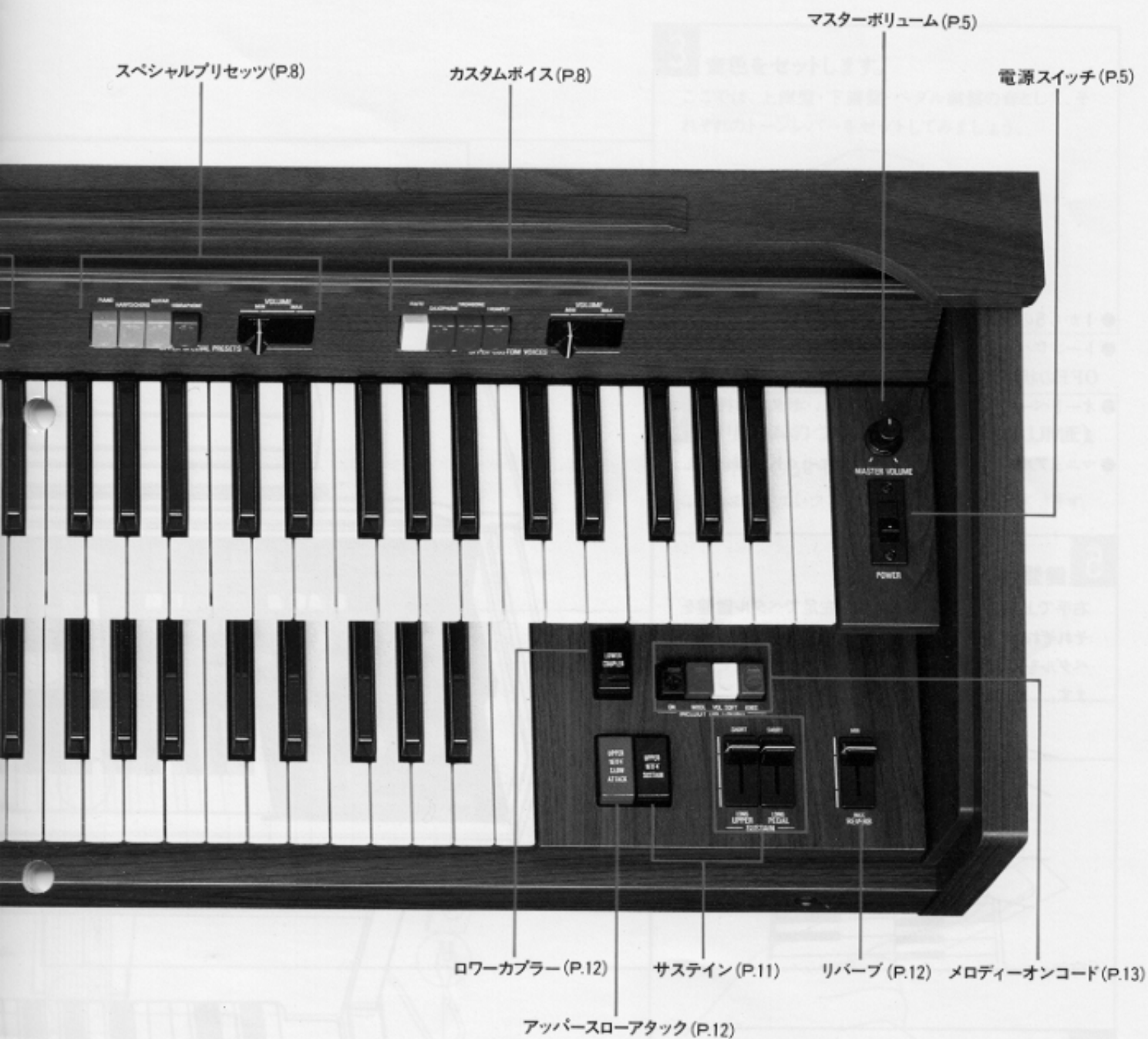


セレクトボタン

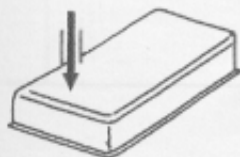




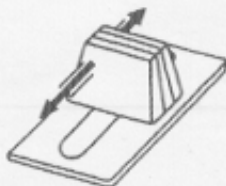
( )内の数字は本書で説明しているページ数です。



タブレットスイッチ



スライドレバー



マニュアルバランスレバー



ニーレバー



# まず音をだしてみよう。

- 1から5の順に操作してください。
- トーンレバー以外のボタンやタブレットスイッチは、すべてOFFの状態にしておきます。
- オートベース/コードはノーマルの黒いボタンを押しておきます。
- マニュアルバランスは、中央の位置にセットしておきましょう。

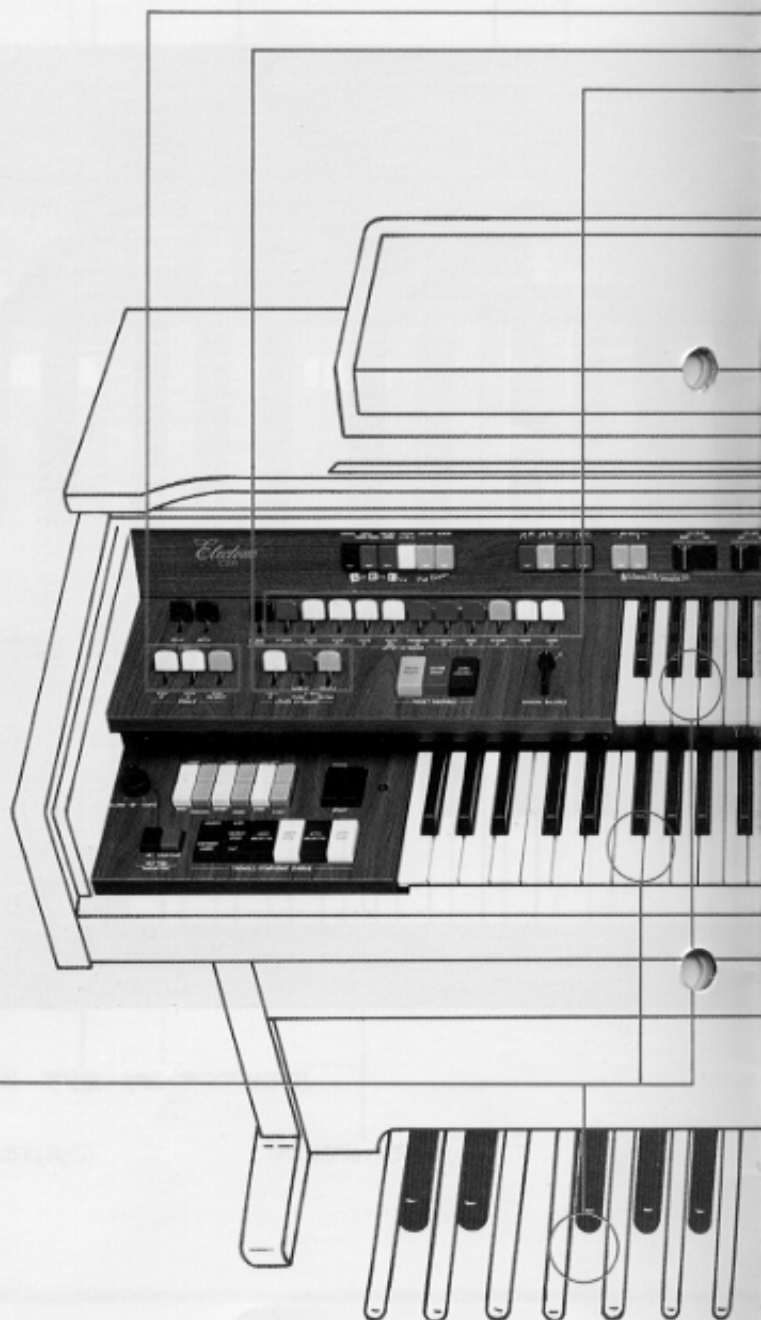
## 5 鍵盤を弾いてみましょう。

右手で上鍵盤、左手で下鍵盤、左足でペダル鍵盤をそれぞれ弾いてください。右足ではエクスプレッションペダルを操作します。それぞれ音ができたことと思います。



## 4 エクスプレッションペダルを踏みこみます。

これもエレクトーン全体の音量をコントロールするもので、演奏しながら音に強弱がつけられます。



### 3 音色をセットします。

ここでは、上鍵盤・下鍵盤・ペダル鍵盤の音として、それぞれのトーンレバーをセットしてみましょう。



### 2 ポリウムつまみ(MASTER VOLUME)を中央ぐらいにセットします。

このつまみでエレクトーン全体の音量が調節できます。

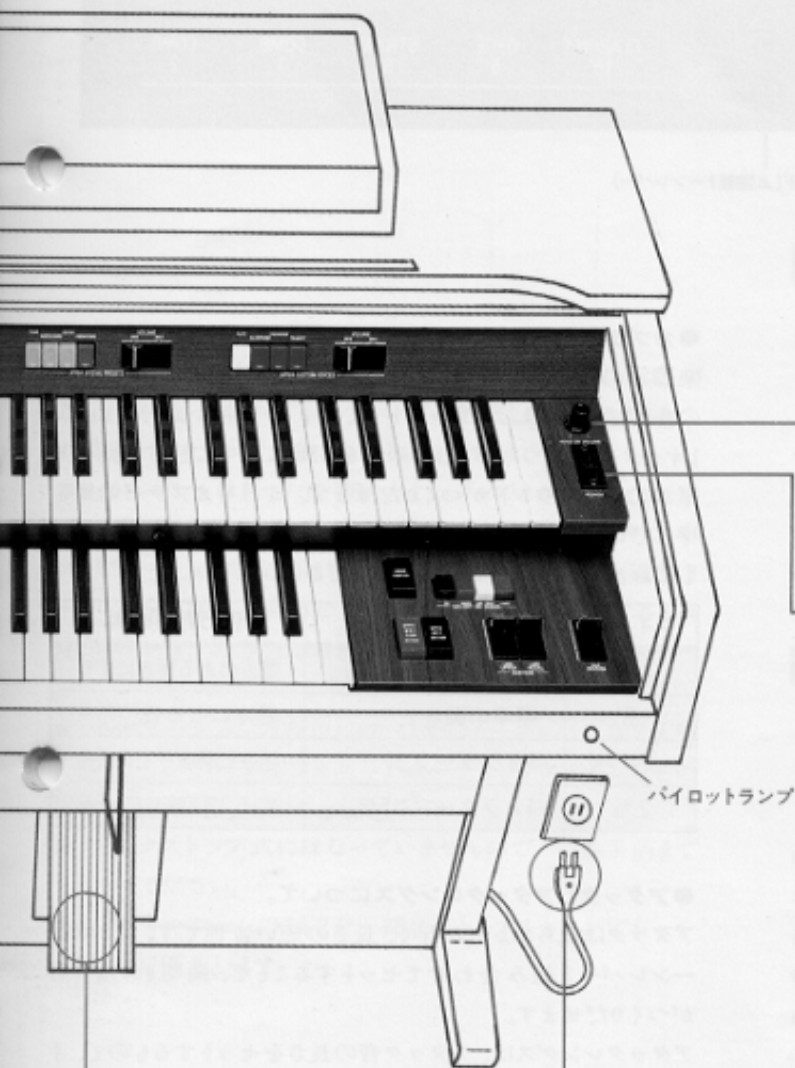


### 1 電源スイッチ(POWER)を入れます。

パイロットランプが点灯します。

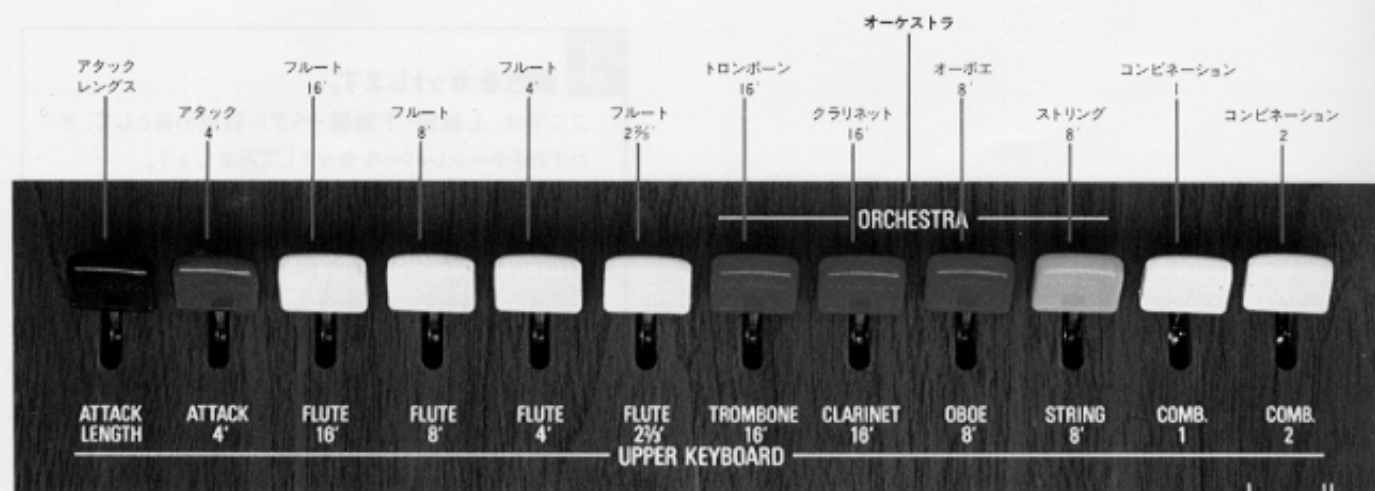


電源プラグをコンセントにさしこみます。



パイロットランプ

# いろいろな音色をつくってみましょう。



アップパーキーボード(上鍵盤トーンレバー)

## 上鍵盤トーンレバー

上鍵盤からはいろいろな音色がだせませんが、まず、オルガン的な音色をつくるトーンレバーからみていくことにしましょう。

### ① だしたい音色のレバーを手前に引いてみましょう。

フルート系は白、管楽器系は赤、弦楽器系は黄色、アタックなど効果がかくみこまれている音色は緑色に、それぞれ色分けされています。また、管楽器系と弦楽器系をあわせてオーケストラ音色といいます。

### ② 上鍵盤をおさえると、セットした音色がでえます。

### ③ 音量を3段階にコントロールできます。

音色をセットするとともに、それぞれのレバーで音量も細かくコントロールできます。途中2カ所でレバーがセットできるクリックストップ式になっていて、一番手前が最大の音量になります。



### ④ 何種類でも、自由に組み合わせられます。

付属の「楽しめようエレクトーン」を参考にして、いろいろな音をつくりだしてみましょう。

### ● カブラー効果とは。

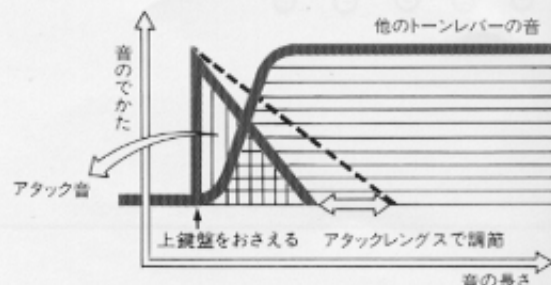
楽器名の後の数字は音程を示すもので、8' (8フィート) が基準の音程です。例えば、フルート 16'、8'、4' を一緒にセットすれば、1オクターブずつちがう3つの音を同時にだすことができ、より厚みのあるサウンドがつくりだせます。これをカブラー効果と呼んでいます。それぞれのフィートの音程と使われ方の例を示しておきましたので参考にしてください。

フィート	でてくる音の高さ	使われ方の例
16'	1オクターブ下	厚みのある響きにする
8'	基準の高さ	基本になる音
4'	1オクターブ上	強さと明るさを加える
2 3/4'	1オクターブと5度上	するどい感じにする

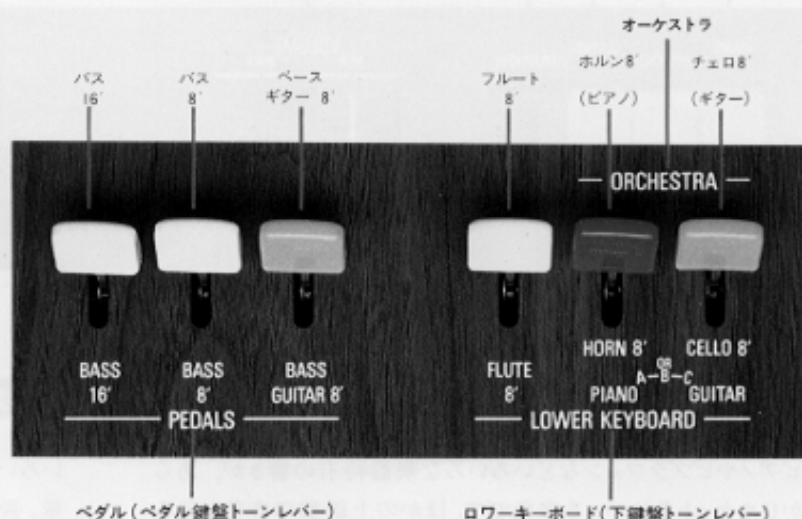
### ● アタックとアタックレンダスについて。

アタックは立ちあがり早く、長さの短い音色です。ほかのトーンレバーと組み合わせてセットすることで、歯切れのよい音がつくりだせます。

アタックレンダスは、アタック音の長さをセットするもので、手前に引くほどアタック音が長くなります。







ペダル (ペダル鍵盤トーンレバー)

ローワーキーボード (下鍵盤トーンレバー)

### ●コンビネーションの音をだしてみましょう。

コンビネーション1とコンビネーション2には、決まった音色があらかじめセットされています。レバーをひとつ入れるだけで、よく使われるサウンドが簡単に得られて便利です。

コンビネーション1……歯切れのよいジャズオルガンサウンド  
 コンビネーション2……広がりのあるシアターオルガンサウンド  
 コンビネーションの音色は単独で使うもので、ほかの上鍵盤トーンレバーとは組み合わせられません。同時にセットするとコンビネーションの音色だけがでています。

★コンビネーションの音色には、ほかのトーンレバー音色と同様に、トレモロ、シンフォニックコーラス、サステインなどの効果をかけることができます。

★クリックストップ式にはなっていないので、一番手前まで引いてください。

★コンビネーションの1と2を一緒にセットするとコンビネーション2が優先します。

### 下鍵盤トーンレバー

下鍵盤から出す音色をセットするレバーで、上鍵盤トーンレバーと同じように、組み合わせることができます。

#### ●ABCトーン

ホルン8、チェロ8の音色は、オートベース/コード(自動伴奏)を使うときに、下段の音色(ABCトーン)に切りかわります。(16ページを参照してください)

### ペダル鍵盤トーンレバー

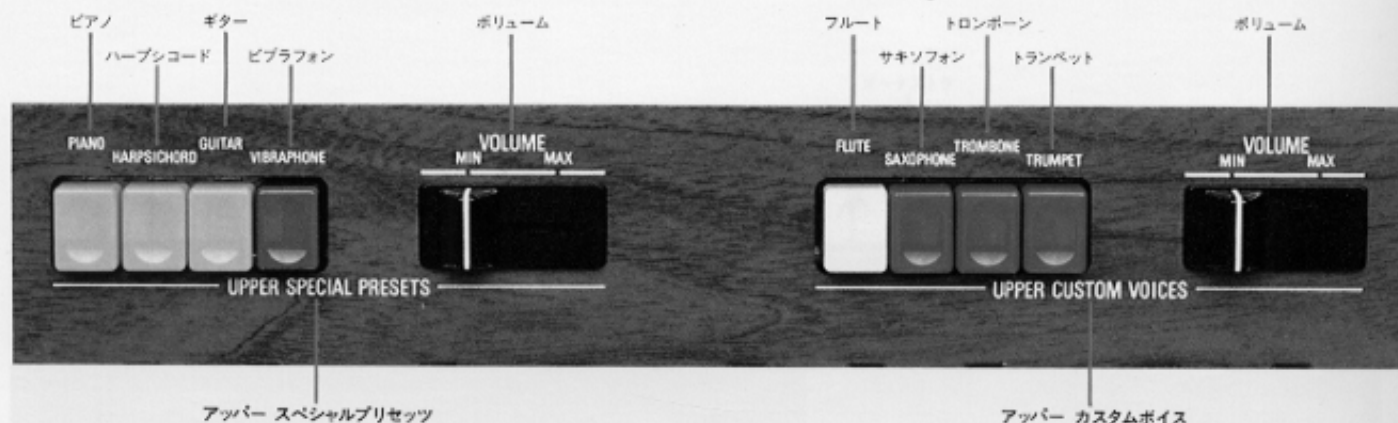
ペダル鍵盤から出す音色をセットするレバーで、組み合わせることもできます。

#### ●バス16・バス8

コントラバスの重厚な音色です。特に16は体に感じるような低音の響きが得られます。

#### ●ベースギター8

立ちあがり早く、途中で消えていく減衰音ですから、歯切れのよいベース演奏ができます。



## スペシャルプリセット

ピアノやビブラフォンなどいろいろな楽器特有の響きが、あらかじめセットされている音色です。ほかの上鍵盤の音色と組み合わせることもできますが、ここではまず、上鍵盤から単独でだしてみましょう。

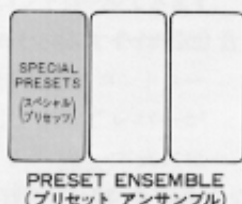
### ① 音色をひとつ選びましょう。

4つの楽器音のなかから、だしてみたい音色のボタンをひとつ選んで押してください。

★2つ以上のボタンを一緒にセットすると、右側の音色が優先します。

### ② スペシャルプリセットのタブレットを入れましょう。

上鍵盤の左横にあるプリセットアンサンブルの3つのタブレットのうち、黄色のスペシャルプリセットを入れてください。このタブレットがスペシャルプリセットのスイッチになっています。



### ③ 音量をコントロールします。

ボリュームのスライドレバーでスペシャルプリセットの音量を調節してください。右にセットするほど音が大きくなります。



### ④ 上鍵盤をおさえると、選んだ音色がでえます。

## カスタムボイス

いろいろな楽器特有の響きがセットされている音色ですが、音量、音色が微妙に変化するため、より実際の楽器音に近づいています。ほかの上鍵盤の音色と組み合わせることもできますが、まず、上鍵盤から単独でだしてみましょう。

カスタムボイスの音は単音ででてくるようになっていて、鍵盤をいくつか同時におさえると、一番高い音だけがでえます。

### ① 音色をひとつ選びましょう。

4つの楽器音のなかから、だしてみたい音色のボタンをひとつ選んで押してください。

★2つ以上のボタンを一緒にセットすると、右側の音色が優先します。

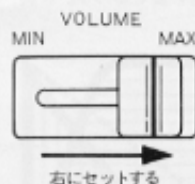
### ② カスタムボイスのタブレットを入れましょう。

上鍵盤の左横にあるプリセットアンサンブルの3つのタブレットのうち、赤のカスタムボイスを入れてください。このタブレットがカスタムボイスのスイッチになっています。



### ③ 音量をコントロールします。

ボリュームのスライドレバーでカスタムボイスの音量を調節してください。右にセットするほど音が大きくなります。



### ④ 上鍵盤をおさえると、選んだ音色がでえます。

鍵盤をいくつか同時におさえると、一番高い音だけがでえますので、ほかの音色と組み合わせてブロック奏をすれば、最高音のメロディー部だけにカスタムボイスの音色が重なり、立体的なサウンドが楽しめます。



### プリセットアンサンブル

スペシャルプリセット音色とカスタムボイス音色のいろいろな使い方を決める機能です。3つのタブレットの入れ方で、上鍵盤で音色を自由に組み合わせることができます。

#### ●上鍵盤から単独で出す場合。

8ページで説明しているように、スペシャルプリセット、またはカスタムボイスのタブレットを入れると、上鍵盤から単独で出すことができます。

上鍵盤からでてくる音色	タブレットのセット
スペシャルプリセット	
カスタムボイス	
スペシャルプリセット カスタムボイス	

#### ●上鍵盤トーンレバーと組み合わせてみましょう。

右端のアッパーアンサンブルのタブレットを入れると、セットしている上鍵盤トーンレバーの音色と組み合わせることができ、より幅広い音づくりが可能になります。

上鍵盤からでてくる音色	タブレットのセット
スペシャルプリセット 上鍵盤トーンレバー	
カスタムボイス 上鍵盤トーンレバー	
スペシャルプリセット カスタムボイス 上鍵盤トーンレバー	



# 音に表情をつけて、豊かな響きに。



## ビブラート

音をこきざみにふるわせ、うるおいをもたせる効果です。デプスとディレイの2つのレバーがありますが、セットのしかたによって次の2種類のビブラートが得られます。

### ●ふつうのビブラートをかけてみましょう。

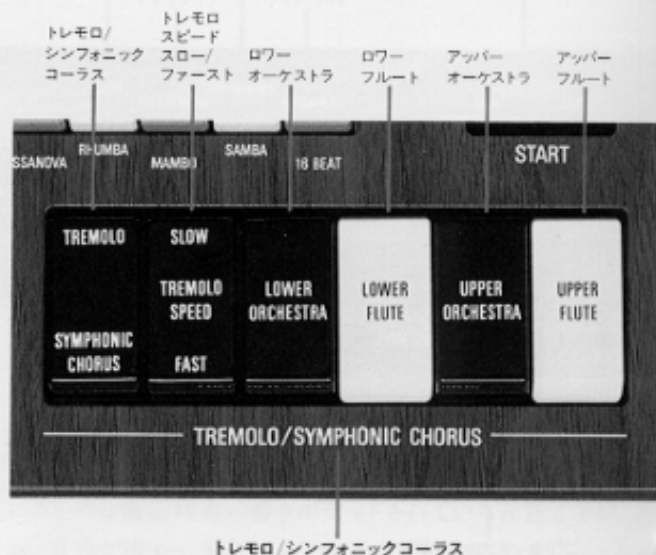
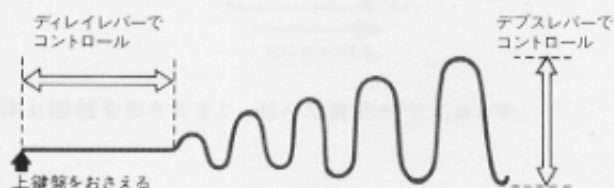
デプスのレバーを手前に引くだけで、上・下・ペダル鍵盤の音にビブラートがかかります。クリックストップ式になっていて、手前に引くほど音のふるえ方が大きくなります。

### ●ディレイビブラートをかけてみましょう。

デプスのレバーと一緒にディレイのレバーを入れると、上鍵盤の音にディレイビブラートがかかります。これは、上鍵盤をおさえてから、少しおきて音がふるえはじめる効果で、ディレイのレバーを手前に引くほど、ふるえはじめるまでの時間が長くなります。ストリングの音色などにかけて、表情豊かな演奏をしてみましょう。

★ディレイビブラートは、デプスのレバーも一緒に入れなければなりません。

★上・下・ペダル鍵盤を同時に弾いているとき、下鍵盤とペダル鍵盤の音にも上鍵盤と同じタイミングでディレイビブラートがかかります。



## トレモロ/シンフォニックコーラス

音にうねりや広がりをもたせ、豊かな響きにする効果です。6つのタブレットの操作によって、上・下鍵盤のトーンレバー音色にトレモロ効果、またはシンフォニックコーラス効果をつけることができます。

### ①まず、トレモロにするかシンフォニックコーラスにするかを決めましょう。

左端のトレモロ/シンフォニックコーラスのタブレットで選んでください。このタブレットを入れない状態では、トレモロ効果が得られ、入れた状態ではシンフォニックコーラス効果が得られます。

トレモロは音をうねらせ、うるおいと広がりをもたせる効果で、シンフォニックコーラスは多くの楽器で合奏しているような豊かな響きにする効果です。

### ②トレモロを選んだ場合は、うねりの速さを決めます。

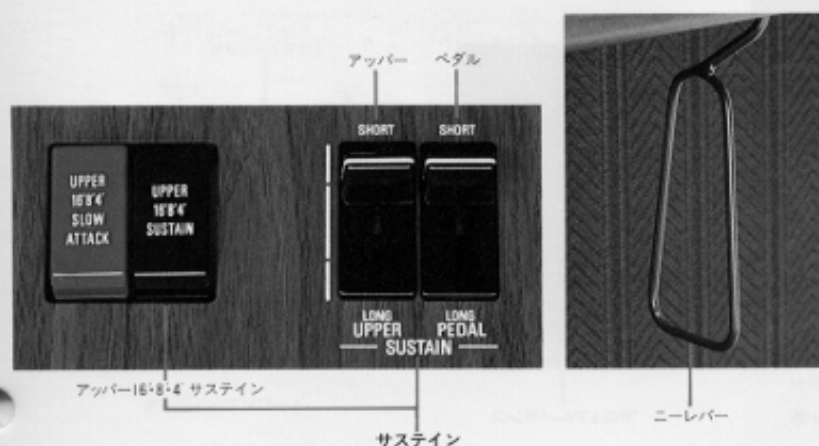
トレモロスピードスロー/ファーストのタブレットによって、トレモロの速さを決めてください。このタブレットを入れない状態では、ゆっくりとしたうねりになり、入れた状態では、速いうねりになります。

### ③効果をかける音色を選びましょう。

右側の4つのタブレットによって、トレモロまたはシンフォニックコーラスをかけるトーンレバー音色を選んでください。

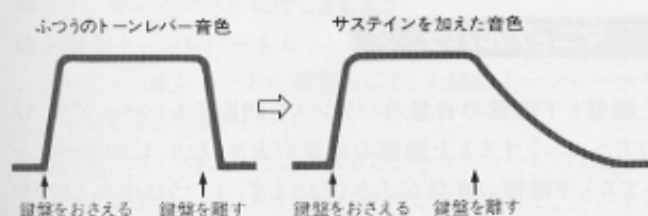
タブレット	効果がかる音色
アッパーフルート	上鍵盤トーンレバーのフルート音色
アッパーオーケストラ	上鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色
ロワーフルート	下鍵盤トーンレバーのフルート音色
ロワーオーケストラ	下鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色





## サステイン

鍵盤から指や足を離したあと、音に余韻をつける効果です。ふつうのトーンレバー音色は、鍵盤から指や足を離すとすぐに消えてしましますが、サステイン効果を使えば余韻が残り、自然な感じで消えていきます。



### ●上鍵盤の音にサステインをかけてみましょう。

アッパー16'8'4'サステインのタブレットを入れることでかかります。余韻の長さは、アッパーのスライドレバーでコントロールしてください。手前に引くほど、余韻が長くなります。このアッパーサステインがかかるのは、上鍵盤トーンレバーの16'8'4'の音色と、スペシャルプリセットのピアノ、ハーブシコード、ギターの音色です。

★スペシャルプリセットの音色にかかるサステインの長さは一定で、アッパーのスライドレバーで調節することはできませんが、アッパーアンサンブルのタブレットを入れた場合は、トーンレバー音色と同様にサステインの長さを調節することができます。

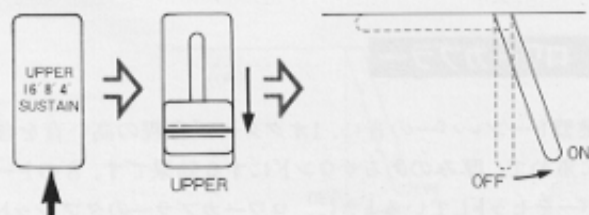
★アッパー16'8'4'サステインのタブレットを入れたら、上鍵盤トーンレバーのアタック4'の音がでなくなります。

### ●ペダル鍵盤の音にサステインをかけてみましょう。

ペダルのスライドレバーを手前に引くだけで、ペダル鍵盤の音にサステインがかかります。手前に引くほど、余韻が長くなります。

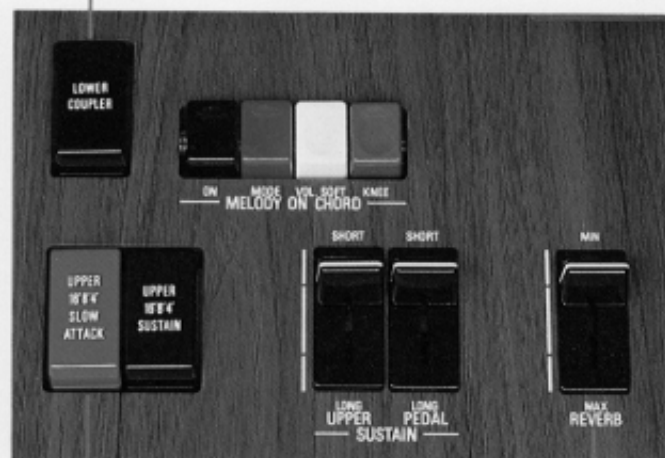
### ●ニールバーを使って、アッパーサステインをコントロールしてみましょう。

上鍵盤のサステイン効果は、ニールバーを使うことで、演奏中でも自由にかけることができます。まず、タブレットとスライドレバーでアッパーサステインをセットし、鍵盤の下にあるニールバーをおこしておきます。おこした状態ではサステインがかかりませんが、演奏中にサステインをかけたいところへきたらニールバーを右ひざで右に押してください。押している間だけサステインがかかります。



★スペシャルプリセットのビブラフォンの音色は、ニールバーの操作でサステインのコントロールができるようになります。

ローカプラー



アッパー16・8・4'スローアタック

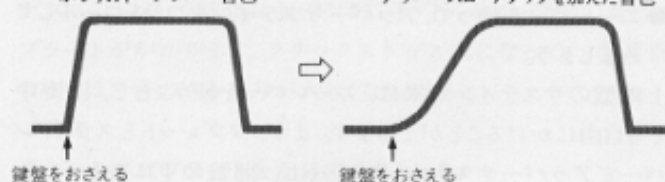
リバーブ

## アッパースローアタック

音の立ちあがりをゆるやかにして、やわらかい感じの響きにする効果です。アッパー16・8・4'スローアタックのタブレットを入れたら、上鍵盤トーンレバーの16・8・4'の音色にこの効果がかけられます。

ふつうのトーンレバー音色

アッパースローアタックを加えた音色



★スペシャルプリセットとアッパーアンサンブルのタブレットを入れて、トーンレバー音色とスペシャルプリセット音色を組み合わせた場合は、スローアタックの効果がなくなります。

## ローカプラー

下鍵盤トーンレバーの音に、1オクターブ音程の高い音を自動的に重ねて、厚みのあるサウンドにする効果です。8'のトーンレバーをセットしているときに、ローカプラーのタブレットを入れれば、セットした音色を1オクターブ高くした4'の音色と一緒にでてきます。



マニュアルバランス

## リバーブ

音に残響をつけ、大きなホールで演奏しているような響きにする効果です。リバーブのスライドレバーを手前に引くことで、上・下鍵盤の音に効果がかけられ、手前に引くほど残響が長くなります。

## マニュアルバランス

上鍵盤と下鍵盤の音量のバランスを調節するレバーです。U.の方へセットすると上鍵盤の音量が大きくなり、L.の方へセットすると下鍵盤の音量が大きくなります。ふつうは中央よりややU.よりの位置にセットします。

